

平成18年度新潟市合併記念展 新潟の舟運

川がっなく越後平野の町・村

平成18年7月15日(土)～9月3日(日)

かつて、輸送の主役は船であり、その経路は海・潟・川・堀などの水路でした。人々は大小の船に乗って移動し、船に商品や物資を載せて運びました。

信濃川・阿賀野川の河口をもつ新潟は、海と川を結び接点として、古くから人・モノ・情報が行き交う場所でした。江戸時代になって西回り航路、東回り航路が整備されると、新潟を行き交う船はますます増加しました。湊では、物資が水路を経て内陸からもたらされ、内陸へと運ばれました。湊町新潟を支えたのは、内陸の町や村の生産であり、暮らしてあり、河川水運でした。

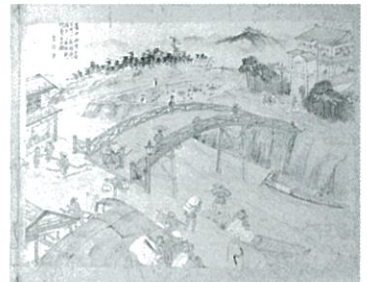
本展では、川や潟の水運を通じて湊町新潟と内陸の町や村との深い関係を明らかにし、内水面の水運と水運を担った人々の営みの移り変わりを紹介します。

■関連イベント ※詳しい内容については、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

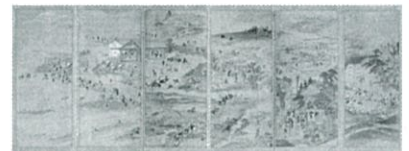
内	容
①水上バスで訪ねる川湊酒屋の歴史 日時:7月28日(金) 10:00～15:00 みなとびあ船着場から水上バスに乗り、川湊で発展した酒屋集落を訪ねます。船内や現地では当館学芸員や地元講師が解説・ご案内いたします。昼食には川魚料理	を堪能します。 ●参加費:4000円(乗船料・昼食代込み) ※要申し込み/定員45名。集合場所や詳細につきましては、申込者に返信でお知らせいたします。
②記念講演会「新潟の舟運(仮題)」 7月30日(日) 14:00～16:00 ●講師:原 直史氏(新潟大学人文学部助教授)	●会場:本館2階セミナー室 ●資料代:300円 ※要申し込み/定員80名
③新潟みなと歴史探訪クルーズ 日時:8月5日(土)・6日(日) 10:00～16:00の間 みなとびあ船着場から小型船に乗り、当館学芸員による解説付きで新潟港周辺を巡ります。 ●出発時間:①10:00②11:00③12:00④13:00⑤14:00⑥15:00	(左記の時間に出発します。1回あたりの乗船時間は40～50分間) ●乗船料:500円(小雨決行) ※申し込み不要。各乗船時間までに、みなとびあ協の船着場までお集まりください。各回とも定員約10名。
④展示解説会 日時:7月16日・30日、8月13日・27日、9月3日 (各日曜日)の14:00～(40分間程度)	●会場:本館1階企画展示室 ※申し込み不要。時間までに企画展示室へお集まりください。観覧券が必要です。



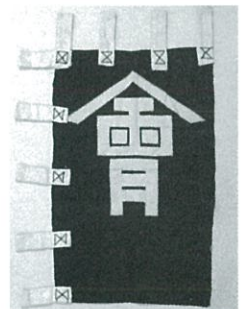
御城米の輸送に使用した旗



片山翠谷画北越雪中実景
(暑中に氷室の雪を新潟港に運ぶ様子)



塩川風俗図屏風(米を船に積み入れている様子)



年貢米の輸送に使用した会津藩の旗

〈申込み方法〉

上記①、②に参加ご希望の方は、往復はがき・FAX・Eメールのいずれかの方法で、ご希望の企画と、住所・氏名、連絡先電話番号を記入のうえ、下記博物館までお申し込みください(応募多数の場合は抽選となります)。お申し込みと同じ方法で参加確認の返信をいたしますので、FAXの方はFAX番号も記入ください。

※応募が切:7月21日(必着)

■関連共催事業

新潟日報ふるさと発見歴史セミナー「歴史ロマン「日本海道」を行く」

- 日時:8月12日(土) 9:30～17:00
- 会場:新潟市民プラザ(NEXT21ビル6階)
- 主催:新潟日报社・新潟市歴史博物館
- 申込み:往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入の上、〒950-1189 新潟市善久772-2 新潟日报社事務局「歴史ゼミ」係まで(高校生以下の方は学年明記)。資料代有料。折り返し振込み用紙をお送りします。※7月28日(金)必着
※お問い合わせは、新潟日报社事務局 TEL.025-378-9266

■新潟市主催事業 「81万人の港町・新潟」

- 日時:8月19日(土) 10:00～16:00
- 会場:朱鷺メッセ2階スノーホール
- 内容:シンポジウム・記念講演・サミット
- 参加応募期間:7月3日～8月7日
※詳細は、市歴史文化課 TEL.025-228-1000(内線2255)へお問い合わせください。

■観覧料

	一般	前売・団体
大人	600円	480円
大学生・高校生	400円	320円
中学生・小学生(平日)	200円	160円

- 常設展示観覧料を含みます。
- 中学生・小学生は、土・日・祝日の観覧料が無料になります。
- 団体(20名以上)

■開館時間:午前9時30分～午後6時 入館は午後5時30分まで

■会期中の休館日:7月18日(火)・24日(月)・31日(月)・8月7日(月)・21日(月)・28日(月)

■交通案内 ■新潟駅からバスで…

- 新潟市観光循環バス(大夜叉号)で15分「歴史博物館前」バス停下車すぐ
- 新潟交通「昭和大橋・入船営業所」行きバスで25分「歴史博物館前」バス停下車すぐ
- 車で…新潟バイパス紫竹山ICより約15分
- 信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着



みなとびあ
 新潟市歴史博物館
 NIIGATA CITY HISTORY MUSEUM

お問い合わせ:新潟市歴史博物館
 〒951-8013 新潟市柳島町2-10
 Tel:025-225-6111
 fax:025-225-6130
 URL:http://www.nchm.jp
 E-mail:museum@nchm.jp



- 新潟バイパスからは、紫竹山ICにおいて栗ノ木バイパス～国道113号～柳都大橋を渡り新潟島通を右折し直進すると、みなとびあの建物が見えてきます。
- 駐車場:73台収容可能(無料)

